

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和7年6月11日

2. 認定事業適応事業者の名称

イビデン樹脂株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

（1）事業適応に係る事業の目標

当社及び当社グループでは、気候変動対応を重要な経営課題の一つに位置づけています。成長戦略と気候変動対応の両立に向け、低炭素な操業で事業拡大を可能とする生産技術の革新と、脱炭素社会に貢献する技術開発を進め、2050年までに温室ガス排出の実質ゼロを目標といたします。

（2）その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2025年度より事業適応を開始し、2026年度（目標年度）までに我が社の事業全体の炭素生産性を23.8%向上することを目標といたします。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標

2026年度（計画終了年度）に経常利益を計上することを目標といたします。

（4）事業適応の種類

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

（5）計画の対象となる事業

電子部品・デバイス・電子回路製造業（28）

計画の対象となる事業は主にICパッケージ基板の穴明け工程に資するものであるため。

（6）事業適応の具体的内容

当社の親会社であるイビデン株式会社は、1912年（大正元年）に水力発電を行う揖斐川電力株式会社として創立し、独自の技術を進化・融合させながら、新たな技術や製品を開発し、事業を展開して参りました。

当社は、1963年にイビデン株式会社のメラミン樹脂部門が独立して設立され、現在、樹脂加工部門では、発泡樹脂の軽くて丈夫な性能や断熱性を活かし、自動車用内装部品、精密部品用梱包材、盛土用ブロック、住宅用断熱材などの生産・販売、電子加工部門では、イビデン株式会社ICパッケージ基板製造のNC穴明け工程を担当し、NC加工技術を通して、イビデングループ・電子関連部門発展の一翼を担っております。

今回の計画においては、本社工場で事業を行っている電子加工部門の生産活動に必要なエアーを供給するコンプレッサーについて、省エネ設計された設備に更新することで、炭素生産性の向上を図って参ります。これにより、基準年度vs目標年度の炭素生産性が23.8%向上となる事業計画であります。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2025年10月

終了時期 2027年 3月